

山形県国有林造林生産請負事業連絡協議会安全大会に参加しました

令和4年7月22日(金)、天童市で開催された山形県国有林造林生産請負事業連絡協議会令和4年度安全大会に参加しました。

山形県国有林造林生産請負事業連絡協議会は、県内で国有林の造林や生産の事業を請け負っている林業事業者により組織されている団体であり、毎年、夏山事業最盛期を迎える時期に安全大会を開催して、労働災害の未然防止や重大災害の撲滅を期して、安全意識の高揚を図っておられます。

当日は、コロナ感染対策にも万全を期して参加人数を約20人に抑制しながら、山形労働局山形労働基準監督署鈴木圭安全衛生課長、当署署長から安全講話を実施しました。

鈴木課長からは、林業現場における災害事例や、傾向から見て「激突され」、「切れ・こすれ」災害への対策が急務であること、熱中症対策、職場での転倒防止のための取組等のご説明・ご紹介がありました。当署署長からは、無災害で請負事業が実行されていることに謝意を述べるとともに、現場での安全指導を経験しながら、どのようなアプローチが有効であるのかといったことについて模索していることを説明し参加者に共有いただきました。

また、会員事業者から、猛暑対策のため1人用テントを支給して日陰や「密」を避けた休憩スペースを確保している、消防署と連携した緊急時連絡訓練を実施している、といった安全確保への取組事例が紹介されました。

安全大会は、参加者が「労働災害防止・安全四則の誓い」を唱和して終了しました。本現場をはじめ、すべての現場で無事無災害で作業を完了できるよう、当署では、引き続き、労働基準監督署との連携を強化しながら、請負事業者の労働災害の防止に努めてまいります。

【安全四則】

- 自分でケガをしないように努めます。
- 私は、他人にケガをさせないように努めます。
- 私は、安全のよき協力者となるよう努めます。
- 私は、働ける身の尊さに感謝します。

